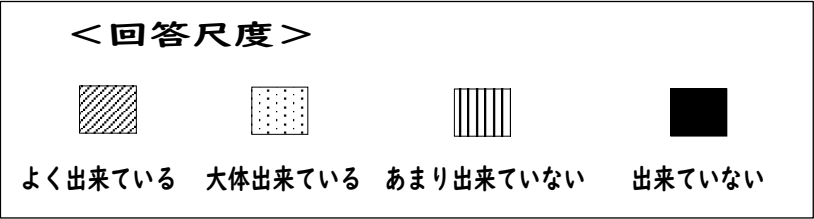


令和5年度（前半）

【学校評価アンケート結果について】

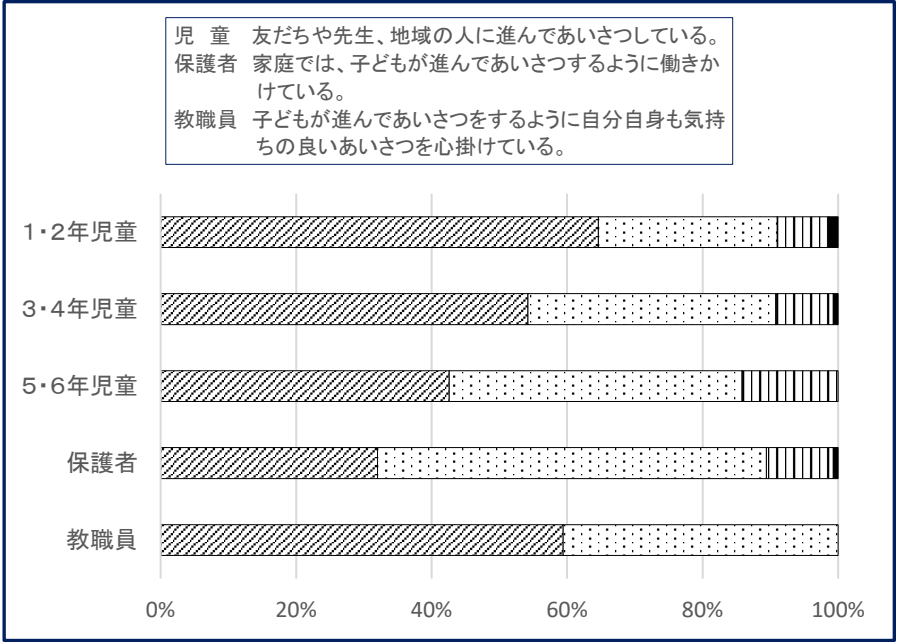
9月に実施いたしました学校評価アンケートの集計結果を、お知らせいたします。「1・2年児童」「3・4年児童」「5・6年児童」「保護者」「教職員」の結果をグラフで表しています。



このアンケートでは、本校の「目指す子ども像」に照らして、児童・保護者・教職員の視点から評価することを通して、日々の学校教育活動の成果と課題を見つめ、今後の改善の指針とさせていただきます。また「家庭・地域での子どもの様子」について調査することを通して、家庭・地域と学校との連携を深めていきたいと存じます。お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございます。

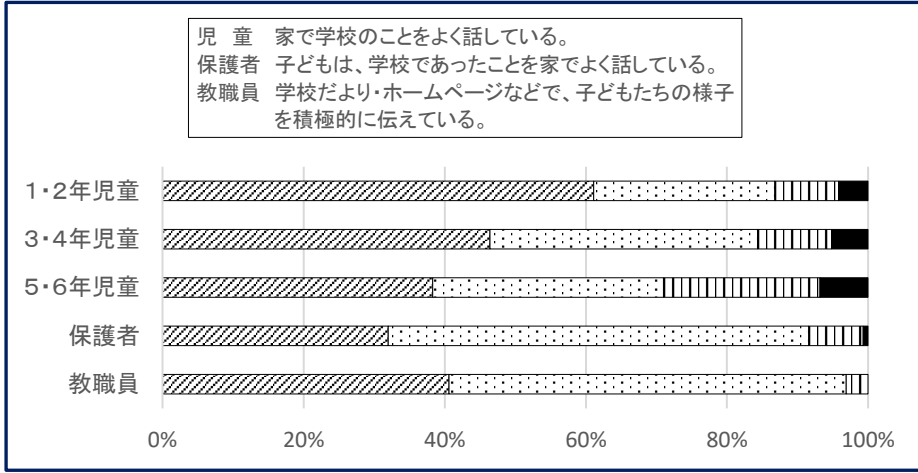
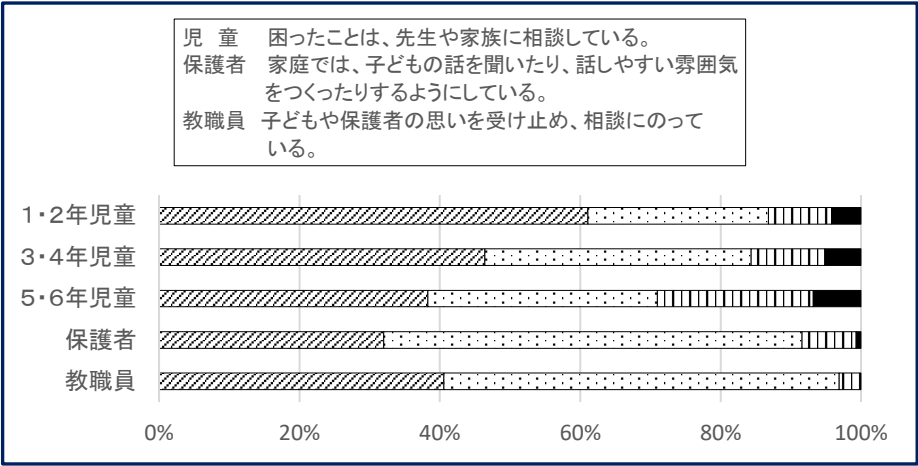
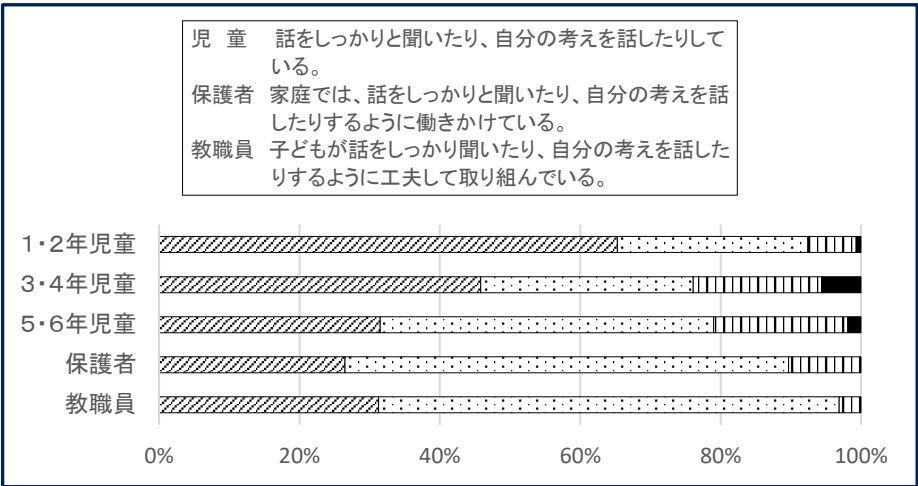
自分から素敵なあいさつができる子

『あいさつしている』という項目では、児童・保護者・教職員共に「よく出来ている」「大体出来ている」を合わせて85%以上肯定的な回答がありました。4月に、教職員からあいさつをしようと呼びかけ、毎朝校門であいさつを続ける中で、児童が自らあいさつをする姿が増えてきました。学校外や登校時にあいさつしている姿が少ないという課題に対して、10月には、どんなあいさつが素敵なのか、朝会や児童朝会、各クラスでの話し合いの場をもち、素敵なあいさつについて考えました。その結果、特に高学年の子どもたちが、その価値に気づき、低学年の子どもたちの見本となるあいさつができるようになってきています。今後もより素敵なあいさつが広がるよう児童・教職員共に取組を進めていきたいと思います。ぜひ、ご家庭や地域でも、素敵なあいさつを広げていただき、子どもたちが進んで素敵なあいさつができるよう働きかけをよろしくお願いします。



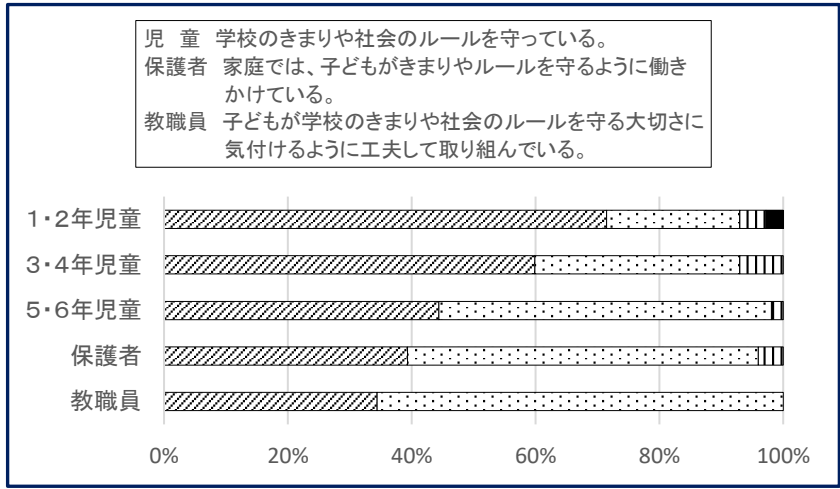
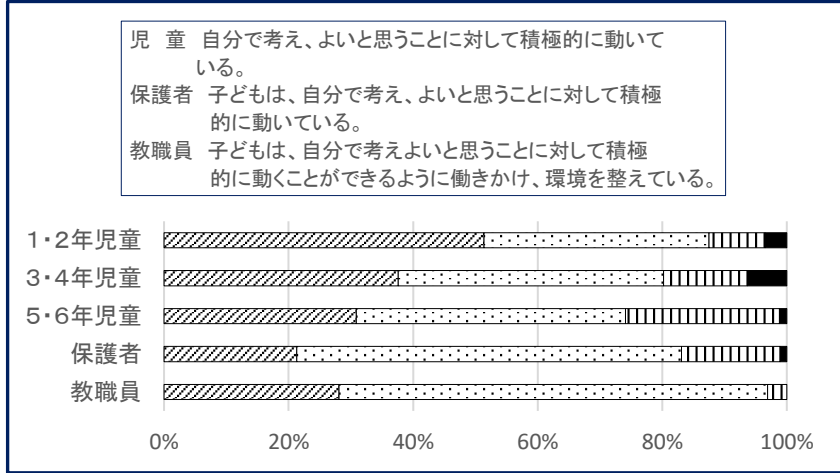
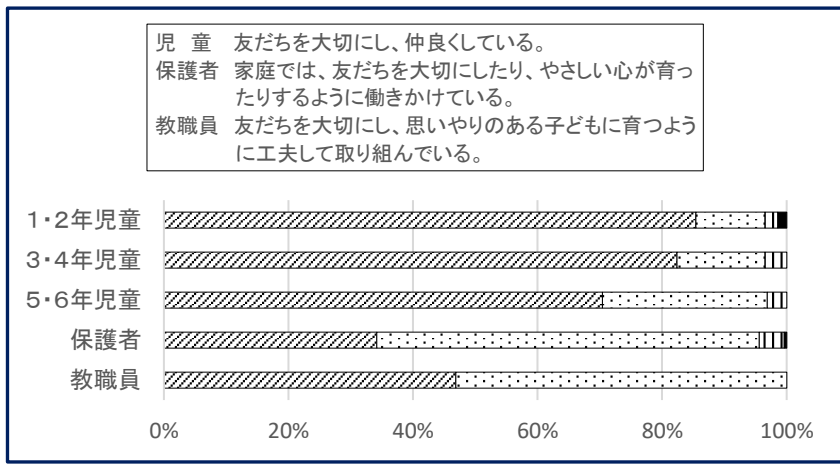
相手の思いを受け止めながら聞くことができる子

『話をしっかりと聞いたり、自分の考えを話したりしている』では、保護者・教職員は80%以上「よく出来ている」「大体出来ている」という肯定的な回答に対し、中学年・高学年児童の肯定的な回答の結果は、80%をきっていました。「人の話を聞く」については、本校がとても大事にしている教育活動の一つです。取組の成果として「話を聞く」については、多くの児童が聞くことはできています。しかし課題としては、「自分の考えを伝えること」です。高学年では、発達年齢上、思春期に入っている児童もいて、周りが気になり、話せなくなる児童もいます。常日頃から学級で話しやすい雰囲気を構築し、話し方を授業で学ぶことによって自信をもって自分の考えを伝えることができるよう働きかけていきます。そして、人の話を目で心で聴き、子どもたちが自分の考えを進んで話せるよう力を引き出していきたいと思います。『困ったことは先生や家族に相談している』や『家で学校のことをよく話している』の項目では、各学年によって児童のおもいに差があるようです。今後もホームページや各種のお便りで等で学校での様子を保護者の方々に伝えることによって、家庭内での話の話題になる機会がもてるようにしていきます。大人も子どもに「今日楽しいことあった？」等良いことに目を向けた問いかけを行ったり、相談しやすく話しやすい雰囲気づくりを心掛けたりして、それぞれで「本当の自分を出せる」環境作りに努めていきたいです。



自分で考え、よいと思うことに対して積極的に動き出せる子

『友だちを大切にし、仲良くしている』という項目では、児童・保護者・教職員共に「よく出来ている」「大体出来ている」が95%以上あり、高い水準でした。本校では、授業や人権教育の取組の一つである「ともだちの日」の学習を中心に子どもたちがお互いのよさに気づき、ちがいの魅力に気づけるような取組を進めてきました。今後も子どもたち一人一人、自分が大切にされている実感がわく環境作りに努めていきます。『自分で考え、よいと思うことに対して積極的に動いている』という項目では、低学年・中学年は80%以上肯定的な回答があったものの、高学年では80%をきっておりました。学校では、児童会活動等で児童が活躍できる場を増やし、責任をもって活動できるような環境を整えていきたいと思います。『学校のきまりや社会のルールを守っている』では、児童・保護者・教職員都共に「よく出来ている」「大体出来ている」を合わせて90%以上肯定的な回答がありました。子どもたちが、安心・安全な生活を送るためには、きまりやルールを守っていくことが大切です。また、安心・安全な環境であれば、より児童が「よいと思うことに対して積極的に動く」ことも増えると考えます。ご家庭でも子どもがきまりやルールを守っていきよう働きかけていただけるとありがたいです。



## 学び続けることができる子

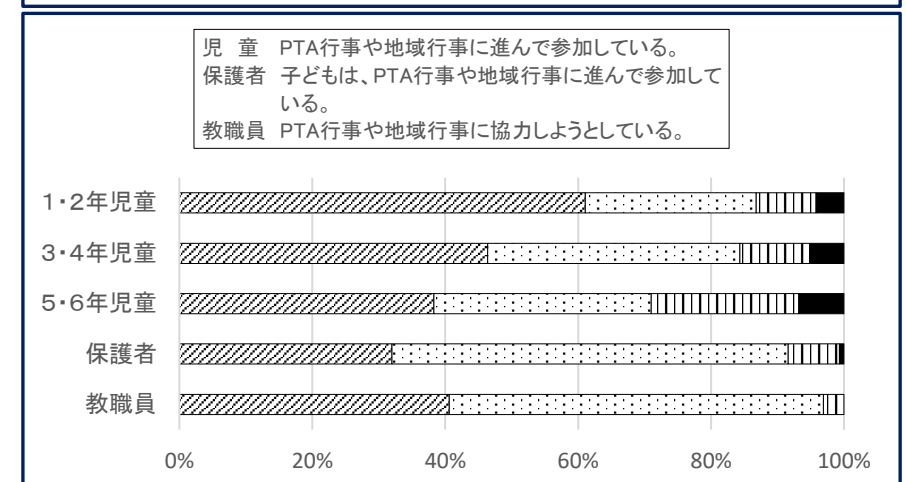
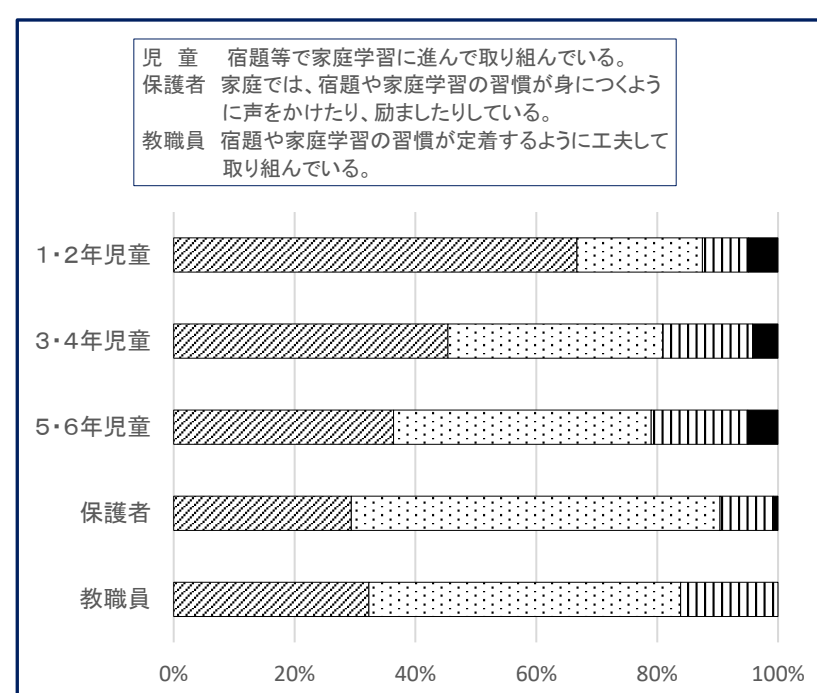
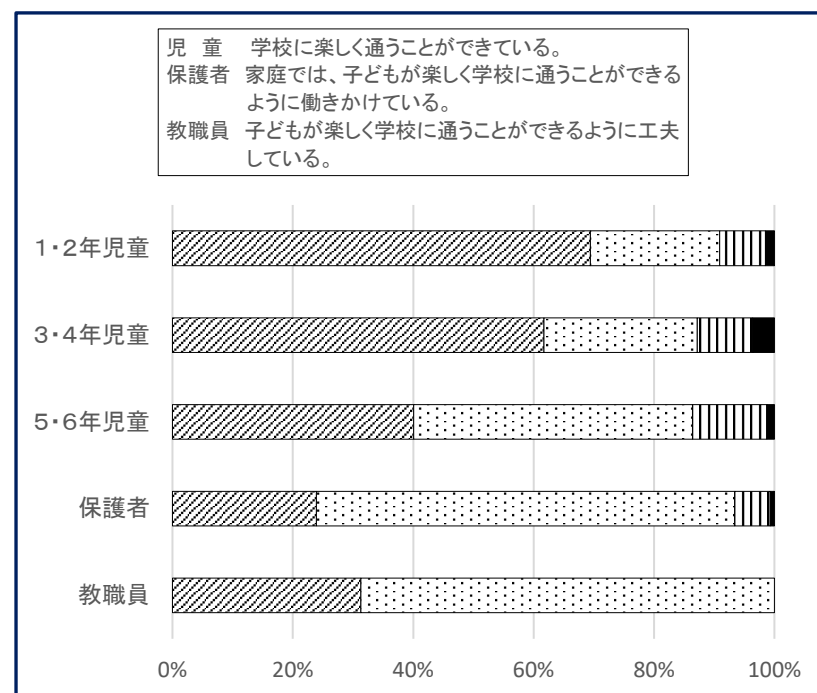
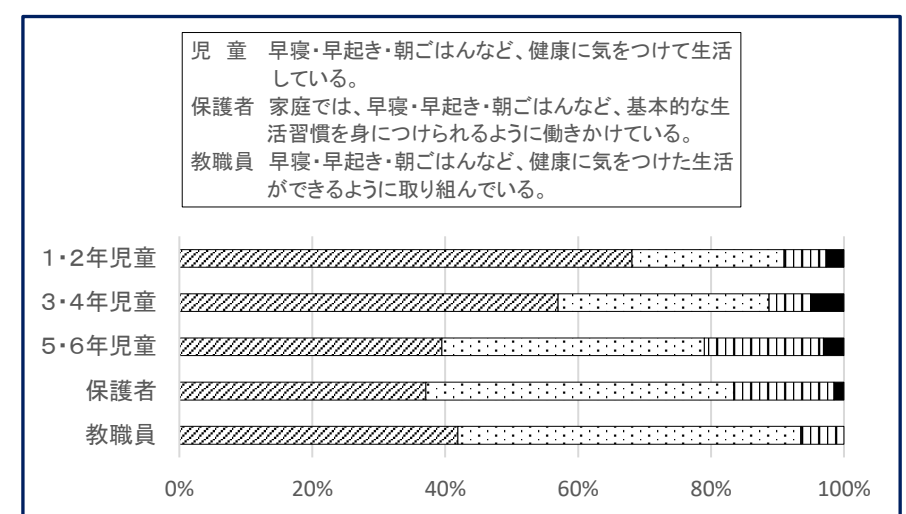
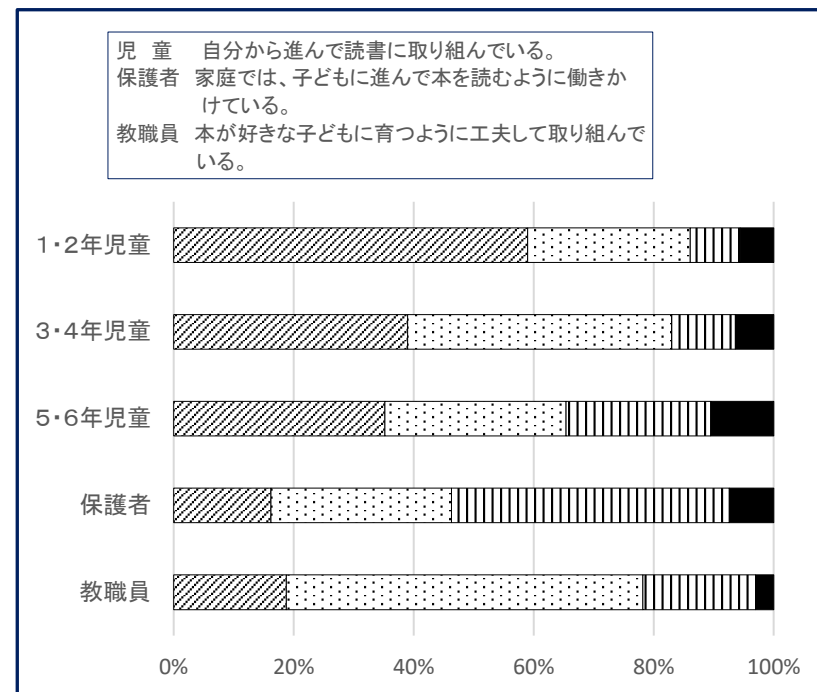
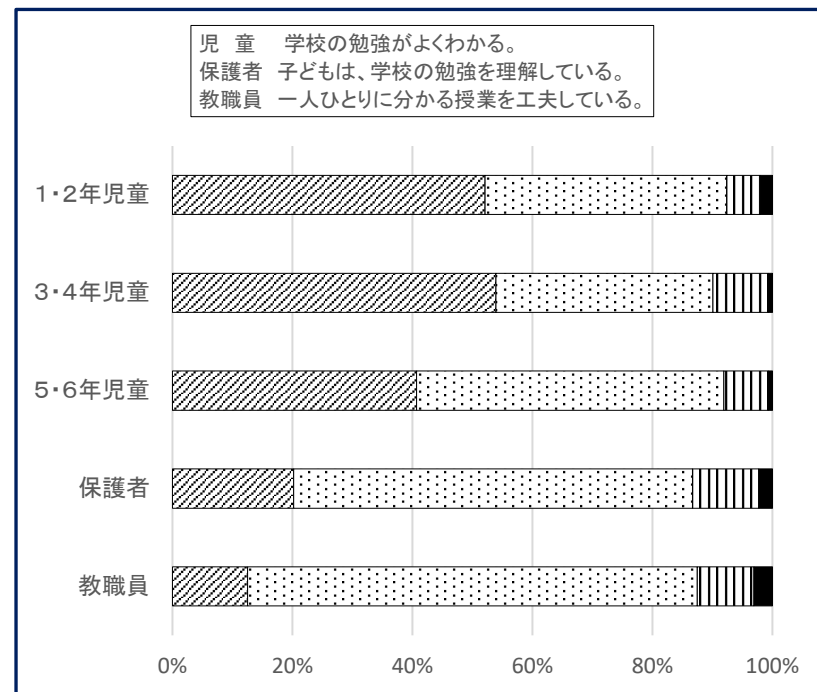
『学校の勉強がよくわかる』という項目では、児童は「よく分かる」「大体分かる」で90%以上が肯定的な回答をしています。子どもたちが学ぶ楽しさを実感できる授業作りを研究し、基礎的・基本的な知識・技能の習得と言語活動の充実を目指した授業改善に努めてきた成果と思われます。より多くの子どもがよく分かる授業を目指していきたいと思います。『学校に楽しく通うことができている』という項目では、児童は「とても楽しい」「まあまあ楽しい」を合わせて85%以上「楽しい」と感じているようです。子どもたちは運動会やたてわり遊び等学年をこえて活動する中で、とても良い笑顔で楽しんでいます。ワクワクが止まらない魅力あふれる桂東小学校を目指し、子どもたちが主体となって学校を作っていく環境作りを努めていきます。

## 学び続けることができる子

『自分から進んで読書に取り組んでいる』という項目では、児童・保護者・教職員の意識にバラつきがあることが分かりました。学校では、読書週間を中心に子どもたちに読書に対する興味・関心を高めているものの、自分から進んで読書しようとする姿につながっていないと捉えることができます。読書の楽しさを味わえる取組や様々なジャンル・種類の本に触れる機会を増やすことで児童が、自分から進んで読書に取り組めるように働きかけていきます。『家庭学習に取り組んでいる』という項目では、児童は学年が上がるにつれて、「あまりできていない」が増えている傾向がありました。これは放課後、習い事等で忙しくて時間がないことも考えられます。家庭学習に進んで取り組めるようにするために、宿題の内容や提出期限を工夫し、児童が家庭学習に取り組みやすいようにしていきたいと思います。学校でも、宿題や家庭学習に取り組むよう声をかけていきますが、ご家庭でも家庭学習の習慣が身につくように声をかけたり、励ましたりしていただけるとありがたいです。

## 家庭・地域での子どもの様子

『早寝・早起き・朝ごはんなど、健康に気をつけて生活している』という項目では、児童は学年が上がるにつれて「よく出来ている」「大体出来ている」が肯定的な回答が減少していました。毎月、保健便りやもぐもぐ便り（給食便り）等で児童に健康的な生活習慣について考える機会を設けています。ぜひご家庭でも生活習慣について話題にしてみてください。健康的な生活ができるように声かけをお願いします。『PTA行事や地域行事に進んで参加している』という項目では、保護者や教職員は、「よく出来ている」「大体出来ている」が90%以上あり、高い水準での回答結果ができました。児童については、学年によりばらつきが見られます。コロナ禍によってほぼPTA行事や地域行事は延期や中止、縮小されてきましたが、地域行事のあり方・進め方を検討し、実施していただいております。子どもたちが今後も地域行事等に参加することを通して、地域のつながりを深め、ご家庭・地域・学校が一体となって桂東小の子どもたちを育てていきたいです。



## 総括

全体の傾向として、高学年になるほどできているという実感が低下しています。高学年が自信をもって、いろんなことに対して自分から動き、「できている」「できた」という充実感・達成感をもてるよう、今後も教育活動を進めてまいります。輝く高学年の姿が下級生のあこがれにつながり、それが魅力ある学校づくりにもつながっていきます。

自由記述欄では、学校に対する期待や子どもたちの成長を願い、たくさん温かいお言葉をいただきました。ありがとうございました。